指導方法等の改善計画について

府中北小学校

国語科

本年度平均正答率

平成30年度全国学力・学習状況調査
A（本校 77%，県 73%） B（本校 66%，県 59%）

		本校	県
話すこと・聞くこと	A	95.8	92.5
	B	75.0	68.3
書くこと	A	68.8	75.8
	B	54.6	50.6
読むこと	A	80.2	76.7
	B	66.7	56.7
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	A	75.3	69.7
	B		

重点課題

【課題１】「書くこと」
B－1三…通過率43.8%
誤答 3…22.9%・二人の意見に対してどう考えるのかは書けているが，「これから言葉をどのように使っていきたいか」が書けていない。
誤答8…18.8%・誰の意見に対しての考えかが書けていない。
【課題２】「書くこと」
B－2二…通過率20.8%，
誤答4…33.3%・「よく噛むこと」をおすすめする文章では書けているが，「だ液について」が書けていない。
誤答8…14.6%・虫歯を防ぐ方法だけを書き，他の条件を満たしていない。
どちらも記述問題で，複数ある条件全てを満たさなくてはならないのだが，満たしていないものがある。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法

文章を書くことに対して抵抗感を持っている児童が多いため，まずは，文章を書くことに慣れる取組をする。
・目的を明確にした視写・聴写の日常的な取組
・低学年…助詞，促音，拗音等の確実な定着
・高学年…新聞を使った要約文の取組
・多様な説明文の音読
【課題１】
・国語科だけでなく道徳科等においても，なりきって考えることに継続して取り組む。
【課題２】
・帯タイムを活用して条件を設定しての文章作りに取り組む。
（通過率30%未満の児童に対する手立て）
放課後チャレンジタイムを活用して，個別に視写・聴写の指導を行う。

算数科

本年度平均正答率

平成30年度全国学力・学習状況調査
A（本校 72%，県 66%） B（本校 59%，県 54%）

		本校	県
数と計算	A	73.3	64.4
	B	67.0	60.9
量と測定	A	81.8	75.5
	B	60.9	55.7
図形	A	58.3	58.3
	B	69.8	64.4
数量関係	A	67.9	61.1
	B	51.3	47.2

重点課題

【課題１】「図形」
A－7(1)…通過率47.9%
誤答2…37.5%・円周の長さ×直径
誤答4…10.4%・円周の長さ÷直径
「直径×円周率＝円周の長さ」の公式から円周率を求める式を導き出すことができず，この公式の「直径」という言葉が入っている回答を選んでいる。順序立てて考えるということができていない。
【課題２】「数量関係」
B－3(1)…通過率22.9%
誤答5…12.5%・メモ２についての記述だけしかしていない。問題文を注意深く読んでいなかったり，グラフの表題を読み取っていなかったり，メモとグラフの関係を読み取っていなかったりした。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法

【課題１】
・「見通し」を充実させ，多様な解き方を導き出せるようにする。また，「方法」の見通しだけではなく，「結果」の見通しも持たせることにより，量感覚を育てる。
・グループトークの充実を図り，多様な解き方を教え合うことができるようにする。
【課題２】
・算数科だけでなく社会科や理科等においても，グラフを正しく読み取れるように取り組む。
・問題文全体を注意深く読み，アンダーラインを引いたり，書き込んだりすることを習慣づける。
（通過率30%未満の児童に対する手立て）
ステップアップタイムを利用して，個別にグラフを読み取ったり，問題文に書き込みをしたりする方法を身に付けさせる。

理科

本年度平均正答率

平成30年度全国学力・学習状況調査
（本校 64 %，県 60.3 %）

	本校	県
物質	58.3	60.7
エネルギー	60.9	56.8
生命	79.2	77.0
地球	54.2	52.7

重点課題

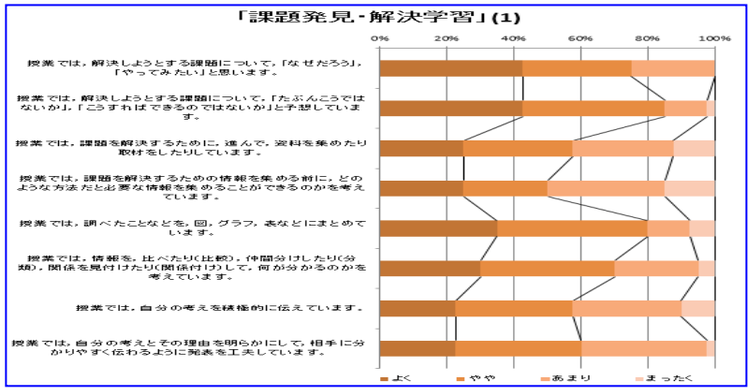
【課題１】「地球」
2(3)…通過率25.0%
選択番号は正答…倒れた棒について（実験結果）の記述なし。18.8%
選択番号も誤答50.1%…倒れた棒について（実験結果）の記述なし。43.8%
実験結果を客観的に分析することができていない。「外側がけずられる」という先入観にとらわれており，記述されている実験結果から考察にすすむことができていない。記述問題に対する抵抗感がある。
【課題２】「物質」
4(3)…通過率31.3%
誤答1…22.9%・食塩の重さを加算せず総重量を400ｇにしている。
誤答2…25.0%・408ml の水溶液は408ｇだと思っている。
水溶液の量と重さの理解ができていない。二人の会話から，必要な情報を取り出すことができていない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法

【課題１】
・授業において，実験結果から考察を導き出す過程に重点を置き，科学的根拠を明らかにしながら考察できるようにする。
・疑問を解決するために，自分の予想から観察や実験の計画を立てる活動を大事にし，思考力を育てる。
【課題２】
・問題文全体を注意深く読み，アンダーラインを引いたり，書き込んだりすることを習慣づける。
（通過率30%未満の児童に対する手立て）
実験をする際に，結果の予想について根拠を明らかにしながら議論する活動を取り入れる。また，結果から考察する際にも同様に取り組み，多様な考え方ができるようにする。
放課後チャレンジタイムを活用して，個別に指導を重ねる。

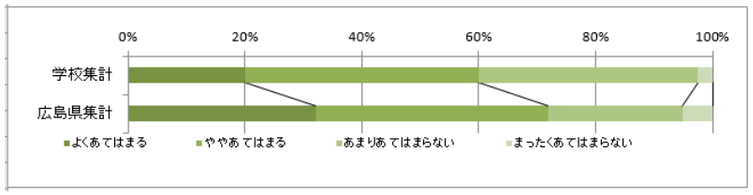
質問紙調査　（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査　）（　全国学力・学習状況調査：学校質問紙調査・児童質問紙調査　）　　別紙２

（1）生活・学習

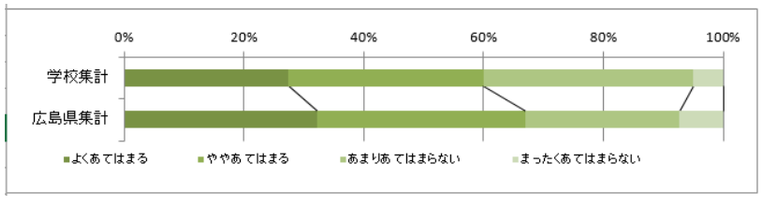


（2）教科

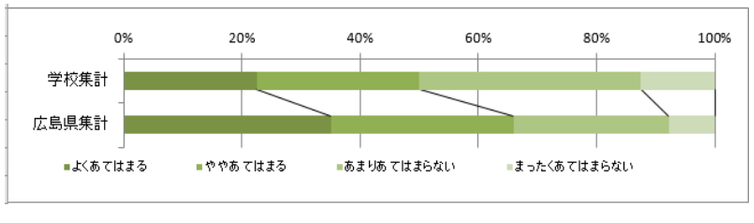
国語の授業では，伝えたいことの中心をはっきりさせ，組み立てを考えて文章を書いています。



算数の授業では，とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科の授業では，自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



児童の回答についての課題（**現状値**）	今後の具体的な取組の内容	学年	**目標値**	検証方法	検証時期	**実施数値**	現状値からの伸び
◎「課題を解決するための情報を集める前にどのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています」(50.0%) ◇「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか」(72.9%)	・課題を解決する前段階の見通しを持つ段階で，方法や結果の予想だけでなく「情報収集方法の予想」もたてさせるよう，流れの確認を行うとともに，児童にノートやワークシートに記録して意識できるようにさせる。 ・「ノーメディア週間」の取組や保健の学習を行う際に取り組む。 （例）食事の時…テレビを消して会話を増やす。 保健…学校での話をすることで，家族を安心させたり，お互いを理解し合ったりすることができる。	5年 6年	60% 75%	アンケート調査 アンケート調査	２月		

	児童の回答についての課題（**現状値**）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	**目標値**	検証方法	検証時期	**実施数値**	現状値からの伸び
国語	◎「伝えたいことの中心をはっきりさせ，組み立てを考えて文章を書いています」(60.0%) ◇「新聞を読んでいますか」(22.9%)	・目的を明確にした視写・聴写・多様な説明文の音読に日常的に取り組む。 下学年…助詞・促音・拗音等の確実な定着 上学年…新聞を使った要約文と意見文の記述練習の取組 ・新聞を使った要約文や意見文の記述練習プリントに取り組むとともに，新聞に触れる機会，意識する機会を増やす。	5年 6年	70% 30%	アンケート調査	２月		
算数	◎「とき方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています」(60.0%) ◇「新しい問題に出合ったとき，それを解いてみたいと思いますか」(79.2%)	・この問いに対して，全体の場での説明と解釈した児童が多く，このような割合になったと考えられる。グループトークも含めた話し合いの場ではできているようだが，全体の場でもできるよう取組をすすめる。 ・引き続き，体験活動を取り入れたパフォーマンス課題を設定し，楽しんで意欲的に学習できるよう取組をすすめる。	5年 6年	70% 85%	アンケート調査	２月		
理科	◎「自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています」(50.0%) ◇「自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか」(54.2%)	・算数の学習と比較すると，グループトークや全体の練り合いが少なくなっていると考えられる。授業において，実験結果から考察を導き出す過程に重点を置き，グループトーク等を取り入れながら科学的根拠を明らかにして考察できるようにする。	5年 6年	75% 60%	アンケート調査	２月		